

## ま え が き

昭和 37 年，産業界からの強い要望に応じて，実践的技術者を養成する高等教育機関として高等専門学校制度が創設され，本校はその第一期校（12 校）の一つとして設置された。爾来 44 年，本校は実践的な技術力を備えた技術者を世に送り出し，現在，卒業生は 5 千 5 百名を超えようとしている。

本「自己点検・評価報告書 - 明石工業高等専門学校の現状と課題 - 」は，本校の活動のすべてについて点検・評価するもので，本校にとっては 3 回目の報告となるものである。前回の報告書は平成 11 年 3 月に作成したことから既に 7 年が経過したが，この 7 年は，本校にとっては目まぐるしいほどの変化の 7 年間であった。

平成 11 年度に，時代の要請を踏まえて電気工学科を電気情報工学科に改組したことから始まって，平成 11～13 年度では，老朽した校舎の改修，増築及びテクノセンターの整備が進み，教育研究環境は大幅に更新された。併せて，平成 11 年度より懇話会を設置し，本校の諸活動及び管理運営に対するご意見等を頂戴し，学校運営への活用を図った。そして平成 15 年度には，懇話会を発展的解消させる形で外部評価委員会を設置しその報告を取りまとめると共に，専攻科の「共生システム工学」プログラムについて日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受審した。

さらに平成 16 年度からの独立行政法人化に合わせて，高専としての個性化，活性化，高度化をより鮮明に打ち出す形で平成 20 年度までの 5 年間の明石高専中期計画を策定し，本年度は大学評価・学位授与機構による認証評価を受けたところである。

このような激動の 7 年間に一定の視点に立って点検・評価するため，本校では「将来計画・自己点検等委員会」の下に「自己点検・評価報告書作成ワーキンググループ」を設置し，多くの教職員の協力を得て本報告書を取りまとめたものである。対応すべき課題はなお山積の状況ではあるが，関係各位におかれては本報告書にお目通しを戴き，忌憚のないご意見を戴ければ幸いである。

平成 18 年 3 月

明石工業高等専門学校長

高 久 晴